

## えくち徹活動報告!

情報発信第12号 2003年冬!

〒820-0001 飯塚市鯉田 2525-28

TEL 0948-24-5932 FAX 0948-24-6189



発行責任者 江口徹

飯塚市 &amp; 総合せき損センター 共同で特許出願中!!!

# 故郷に自信と誇りを!

## スタンフォード大学CSLIと 飯塚市の共同研究が実を結ぶ!!

### プレイステーション2用 コントローラー今春商品化へ!



情報化フェア(2002年11月 イツカコスモスコモン)にて試作品を使ってゲームをアゴで操作する片岡義晴さん。彼は2001年の東京・晴海で行われた国際福祉機器展でもデモをしました。

## ☆ただいま特許出願中!☆

飯塚市とスタンフォード大学CSLIとの共同研究が実を結びつつあります。

平成9年12月の市内ベンチャー企業と市議3人のスタンフォード大学訪問から始まり、国や県、日本貿易振興会などの多くの支援を受けながら人の交流から自治体と大学との組織の交流まで育ったこのプログラム。

平成13年2月には、スタンフォード大学CSLI e-ZUKA研究室(飯塚プランチ)を飯塚研究開発センター内に開設することができました。

そんなスタンフォード大CSLIとの共同研究の平成13年度のテーマは「チャレンジド(障害者)へのサポート」

スタンフォード大学CSLIと飯塚市、地元企業、研究機関等が共同研究を行い、ソニーのプレイステーション2(以下「PS2」)を重度肢体不自由者が使えるようにするためのコントローラーを開発したのです。

家庭用ゲーム機と思われるPS2はチャレンジド(障害者)の社会参加を助けるインターネット端末としても動きます。障害を持つ方の可能性が広がるのに飯塚の税金が役に立つのです。こんな税金の使い方は素敵ですよ。

昨年春の活動報告第9号ではこの共同研究について「まだ、製品としては、世には出ていません。早く、全国の福祉施設で、そしてチャレンジドの方々の自宅で、飯塚市、CSLI、大学や医療機関、地元企業の協力でできた製品が、お役に立つ日が来てほしいものです。」と述べましたが、やっと商品化が見えてきました。

現在、テーマ設定や開発に大きな役割を果たした総合せき損センターと飯塚市が共同で特許を出願中。まだ少しハードルはありますが、製造元・販売元も決まり今春の商品化へ産官の懸命の努力が続きます。

市町村で特許を持っている自治体なんて数えるほどしかありません。自分達の住むまちや自分達の働くまちが皆様の役に立つことで特許を取ったと考えるだけでワクワクしませんか!

飯塚は今、トライバレーセンターなど次への基盤も整備中。次は飯塚発のどんな技術が人を喜ばせてくれるのか楽しみです。

## ☆車いすメーカーの立地☆

車いすテニスにとって競技用車いすは欠かせない存在。また高齢者や障害を持つ方々にとっても車いすは身近な存在となっています。しかしその車いすが体にあっているかどうかは大きな問題。総合せき損センターの主任研究員の松尾清美さんは講演の中で「体にあわない車いすを選ぶことは寝たきりを誘発することさえある。きちんと体にあった車いすを選ぶことは外出や自立を助ける。その差は大きく、ぜひ多くの方にきちんとした車いすの選び方を知って欲しい。」と言われます。

そんな車いすという大切な存在をサポートし、競技用車いすでは国内トップシェアを占める車いすメーカー「OXエンジニアリング」社が飯塚市幸袋に進出。車いすテニス大会ではサポートチームでおなじみの同社の飯塚進出は飯塚国際車いすテニス大会の好影響の一つと言ってよいでしょう。

## ☆車いすテニス大会☆

「OXエンジニアリング」の進出など多くのいい影響をもたらしている飯塚国際車いすテニス大会は2004年にはもう20回目を迎えます。そんな飯塚国際車いすテニス大会を「1ランク上のスーパーシリーズに!」との記事が元旦の西日本新聞にありました。

この大会は飯塚だけでなく筑豊の財産です。大会を通じて更に地域と人の輪が広がること、そして障害に対する正しい理解と誰にでも優しい環境が広がることを願ってやみません。

「言葉を考える」「障害者」、その言葉は「差し障りがある者」と本人にとっては、その言葉からも苦痛を感じる時もあると言われます。「障害者ではなくチャレンジド(神から挑戦すること望まれた人間)」と呼ぼう。」と三重県知事の北川正恭さん達は提唱されています。

【法定協議会って何?】 簡単に言うと合併へ向けての最終的な詰めをする場です。法定協議会では新市の名称、市役所の場所、条例の取り扱い、税金、公共料金の取り扱い、学校や体育館、福祉施設などの施設の存続や移転等を決定します。

## 700億円は誰のために?そして何に? ~2市8町合併とは?~

合併問題もそろそろ大詰め。2市8町任意合併協議会の議論も終盤にさしかかり、2月もしくは3月と言われる法定協議会設立へ向けて飯塚市でも説明会が開かれました。

しかし合併後の新市の姿はまだまだ見えないのが現状。12月議会でも「新市に対する夢を具体的に語って頂きたい。」と改めて市長の考えをお聞きしましたが、非常に抽象的。

2市8町合併だと最高で705億円もの「合併特例債」(国・県が約3分の2を払ってくれる有利な?借金)の使い道についても「法定協議会で決まること」と残念ながら未来像は見えずじまい。

合併の最後の段階の法定協議会で大きな争点となるのは、新しい市の名前や市役所の場所とともにこの大きな借金「合併特例債」の使い道でしょう。【新市建設計画】という新しい市の総合計画を法定協議会では決定しますが、合併特例債はこの【新市建設計画】に入っていないと使えません。つまり合併特例債の使い道は法定協議会が決めるのです。

この特例債の使い道について、そして新しい市のあり方について、もっと皆で議論する場が必要です。行政内部だけで決めたものを法定協議会に提案するのではなく、

市民と一緒に議論して法定協議会に飯塚市の意見を提案する、そのためにまず行政の提案が必要です。私の近くの市の間公民館の説明会でも「道路や橋ではなく子育ての環境が欲しい」との提案がありました。

「法定協議会で」とのお答えでしたが、先に「こんなまちを作りたい、だからこの町や市と合併してこのようにお金も使うが、この政策を実現したい」と提案するのが行政のプロとしての役割ではないでしょうか。

昨年12月1日に湯布院町で行われた講演会で北海道二セコ町長の逢坂誠二さんは「お任せ民主主義から脱却を。そのために二セコ町では計画段階から住民と情報を共有し議論していくことに多くの力を使っている。分権社会では自己責任とともに、自己決定力が問われる。この合併の時期にきちんとした議論を住民とする事が必要だ。」とされました。

(2002.12.12付、西日本新聞に関係記事) そんな議論を今、この時期に積み重ねないと、ズルズルと形だけの2市8町の合併が実現するだけで、住民参加の実現はますます遅れ、700億円の壮大な無駄遣いさえ起きかねません。

今回の合併は未来への贈り物。あなたも合併論議へ参加下さい!!

想像して下さい。

もし、あなたが市長だったら700億円を使って冊をしますか。  
ただし、有利と言って7住民一人当たり35万円の借金。  
未来へ残しても許される借金とは??

## 立体駐車場建設見直しへ!

「合併前になぜ?」と活動報告10号で批判していた市役所前のかみプレゼントホテル横の1億2千万円!の立体駐車場建設計画。昨年12月16日の総務委員会で、総務課長は、「のがみ横立体駐車場について再検討した結果、合併協議に悪影響が出てはいけないと判断し、新市の市役所の場所等の方向性が定まるまでの間、建設を見送る」、「来庁者等への利便性の確保については議員駐車場や職員駐車場の移動・削減等に対応したいと考えており理解して欲しい」、「職員駐車場の有料化については合併の障害となり得るため合併後に検討する」と言われました。

この立体駐車場計画については頂いたメールやご意見のほとんどが反対。そんな声が届いたのか、見直し決定となりました。今回の見直しは市が計画決定したものであっても時代に合わせて柔軟に見直すといういい手本となるでしょう。こんな見直しは大歓迎!財政難の中、合併に向けて更なる行政の見直しが市には求められます。ガンバレ市役所!皆様もご意見や思いはぜひお伝え下さい!

ぜひ!議会へおいで下さい。傍聴は誰でも(市民以外も)OKで出入り自由(委員会は部屋の都合で10名まで) 昨年12月の本会議一般質問には、高校時代の友人が傍聴に来てくれた上に、感想をメールで寄せてくれました。見に来ていたけるのは緊張しますが嬉しいものですね。次回議会は2月25日開会予定。★詳しくは議会事務局22-15500内線4002まで

### サポーター募集!

年に4回発行している活動報告。応援して頂ける方々のご協力を得ながら、お配りしています。

もっと多くの方に読んでいただきたいため、「近所の20軒だったら配ってあげるよ!」「私の店に置いてあげる」という方、ぜひご連絡ください。政策サポーターも募集中!

★講演セミナー本になる!★  
ニュース・ステーションやたけしのTVタックルでおなじみ白鷗大学教授の福岡政行さんをはじめ質の高い講師が自慢の清溪セミナーに昨年も参加してきました。

その中でも各地で活躍している町長のリレートークや横浜市長の中田宏さんのお話は非常にアイデアと気迫に満ちたものでした。

そんな清溪セミナーから本ができました。「自治体再生へ舵を取れ」福岡政行編著・学陽書房発行 定価1,680円(税込み)。第5回清溪セミナーでの北川三重県知事、逢坂二セコ町長、清水太田市長によるパネルディスカッションを中心に神田北見市長、福田宇都宮市長ら5人の地方政治への提言が盛り込まれています。ぜひ書店でどうぞ!(P235にも注目!)

### 音声版活動報告も作成しました!ホームページも毎月更新中!

録音テープの活動報告を作成しました。視覚障害の方など必要な方はご連絡下さい。ホームページでは、私の活動報告を中心に、委員会記録など紙面では提供が難しい様々な情報を掲載しています。掲示板もご用意しておりますので、どうぞご利用下さい。

メール・お葉書・ファックスでのご意見ご質問等もお受けいたしています。また、月数回程度、議会報告やイベント案内のメールもお送りしていますので、「メール版活動報告希望」だけのメールでも結構ですので、お気軽にどうぞ。今年はメルマガも発行します!

ホームページ <http://www.geocities.co.jp/WallStreet-Bull/4535/>  
メールアドレス [kawasaki1@mx7.tiki.ne.jp](mailto:kawasaki1@mx7.tiki.ne.jp)